

富山の郷土料理や加工品について書かれているため、そのこともふまえて考える必要がある。

問い3 資料4に書かれている地名に着目すると、北海道は資料1にも名前があり、昆布の漁獲量が1位と記されている。このことから、北海道で獲った昆布を富山まで北前船で運んでいると考えられ、これが①にあてはまる。また、会話文中では昆布を使った郷土料理の話をしていて、資料3も照らし合わせると、大量の昆布をつかった料理や加工品が自然と生まれたことが②の内容にあてはまると考えられる。

問い4 資料5は昆布、資料6は薬の貿易について書かれている。資料6で富山の薬づくりには中国から鹿児島を経由して輸入された薬の材料が使用されていることから④は富山、資料5で鹿児島(薩摩藩)が支配していた沖縄から昆布を中国に売っていた記述があり⑧は沖縄であるとわかる。図の矢印の向きは輸出先に向いているので、⑨は薬の材料、⑩は昆布であるとわかる。

### 課題3 (数学：円)

問い1 条件より、犬の動くことができる範囲は中心が杭で、半径がリードの長さ2m…(ア)である円の内部になる。面積は、 $2 \times 2 \times 3.14 = 12.56(\text{m}^2) \dots (\text{イ})$

問い2 5mのロープを張ったとき、動ける範囲の増加分はリードの長さ2m×ロープの長さ5mの長方形がロープの両側にできたものであると考え、動くことのできる面積は(イ)に比べ $2 \times 5 \times 2 = 20(\text{m}^2) \dots (\text{ウ})$ 増える。

問い3 犬小屋を置いたとき動くことができる範囲は、問2で求めた面積と、図の左側は犬小屋など障害物がないため半円ができるのに加え、右側は一辺が1mの犬小屋ができるためリードの長さが余る関係で、半径1mの直角のおうぎ形が2つでき、右下部分は半径2mの直角のおうぎ形となる。

問い4 問い3で求めた図をもとに考えると次のような式になる。

$$20 + 2 \times 2 \times 3.14 \times \frac{1}{2} + 1 \times 1 \times 3.14 \times \frac{1}{4} \times 2 + 2 \times 2 \times 3.14 \times \frac{1}{4} + 1 = 31.99(\text{m}^2) \dots (\text{エ})$$



#### ★ワンポイントアドバイス★

問題文や図表をよく読んで考えれば解ける問題ばかりである。問題数は時間に対してやや多いので、手際よく解いていくことが重要だ。課題3は計算問題なので、ミスに気をつけよう。

### < 作文解答例 > 《学校からの解答例の発表はありません。》

問い1 ①趣味や娯楽 ②社会との関わりの中で持続可能なあなたらしい仕事

問い2 私は、将来社会に出てから、保育士になって小さな子どもたちのお世話をしたいと考えています。私は、昔から自分よりも小さい子供と遊んだり、面どうを見たりすることが好きでした。母が出かけているときに、年下の妹の面どうを見たり、放課後に近所に住む小さい子どもたちと遊んだりしていて、よく近所のお母さんたちに、「小さい子たちの面どうを見るのが上手だね。」とほめてもらいます。今、日本では、保育園や保育士の数が足りず、保育園に入ることができない子どもたちが多くいるというニュースをよく目にしま